



～学校・家庭・地域が一つになって～



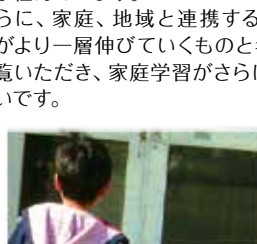
あやせ 学びづくり運動



学校と家庭・地域の連携で、子どもたちに「生きる力」を

綾瀬市の小、中学校では、平成23年度から「あやせ学びづくり運動」に取り組んでいます。

さらに、家庭、地域と連携することで、学習内容が確実に定着し、学力がより一層伸びていくものと考えます。この資料をお子様と一緒にご覧いただき、家庭学習がさらに充実するようにご活用いただければ幸いです。



綾瀬市教育委員会



学校では

確かな学力を育みます

「確かな学力」とは、
右図にあるような
資質や能力のことです。



これらの力を育むために、
自分で課題を
解決していく授業
を進めています。



授業の改善

- 一人ひとりが、追求したい学習課題を設定します。
- 自分の考えを持つ時間や、友達と協力しながら解決する時間を設けます。



わかる授業



楽しい学校

授業改善のための校内研究授業の様子



教職員研修会の様子





学校では

学習意欲を高めます

「おもしろそう」

わかる授業を研究、実践します



「認められている」

子どもの思いを大切にします



自ら学ぶ意欲

「褒められる」

長所を見つけて伸ばします



「やればできる」

自信が持てるように励まします



学習や生活のあらゆる場面で、
バランス良く指導しています



デジタル教科書の活用



- 教科書を大きなスクリーンで見ることができ
ます。
- 問題の解き方を繰り返し確認することが
できます。
- 朗読機能で、正しい読み方がわかります。
- 漢字の読み方や書き順を確認することが
できます。
- 挿絵と吹き出しで学習できます。
- 動画を見ることができま

デジタル教科書についての調査結果から

平成23・24年1月実施(抽出校)

- デジタル教科書を使うと授業が楽しい
⇒約6～7割の児童・生徒が楽しいと回答
- デジタル教科書を使うと授業がよくわかる
⇒約6～7割の児童・生徒がそう思うと回答

体験活動の重視

学習意欲を高めるために、実体験を伴った学
習を重視しています。実験や栽培活動、福祉体
験、地域の方との交流などを通して学ぶことを
大切にしています。



福祉体験や
理科の実験



バケツで
米づくり



地域の方との
交流学習



わかった



できた



もっと
やりたい

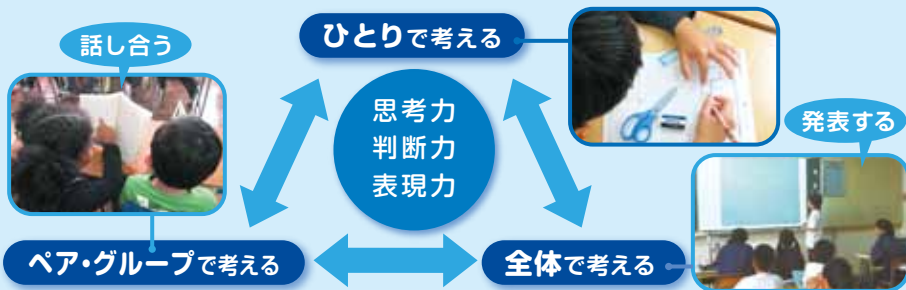


学校では

思考力・判断力・表現力を高めます

言語活動の充実を図る取り組みの推進

学び合いを進める学習形態を工夫しています



学び合いを充実するために

小・中学校が連携し、学習活動段階表モデルを活用しています

◇言語活動の充実を図る学習活動段階表モデル◇

段階	話し方	聞き方	記述・論述の仕方	話し合いの仕方	発表の仕方
小1	○自分の考えを、はっきり話す。 例)「です」「ます」を使って、最後まではっきり話す。	○大事なことを落とさずに聞いて、最後まで聞く。 例)「～を」を耳がに聞く。	○経験したことや想像したことを、順序よく構成を考えて、文や文章に書く。 例) 文、手紙、観察文、説明文、詩	○近くの友だちと話し合う。 ・2人組 ○教師の司会進行で、全体で話し合う。 例) 指導のもと、話し合身に付ける。	○自分の考えを持ち、はっきりした声で分かりやすく発表する。 例) かへ新聞、絵、写真、劇などで発表する。
小2	○自分の考えを整理し、筋道を立てて、分かるように話す。 例) 「～です。」「～と思います。」「～です。」「～と」「～から」	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容に応じて、資料を活用し聞き手の表情を見ながら、分かりやすく発表する。 例) グラス、絵、写真、紙芝居を活用して発表する。 例) パンフレット、リーフレット、プレゼンテーションソフト、ペーパーサート、劇などで発表する。
小3	○自分の考えを整理し、筋道を立てて、分かるように話す。 理由をつけて話す。 つながりを示す言葉を使って話す。 相手の意見の趣旨をくみ、自分の言葉でまとめて話す。 例) 「～、なぜなら～だからです。」「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容に応じて、資料を活用し聞き手の表情を見ながら、分かりやすく発表する。 例) グラス、絵、写真、紙芝居を活用して発表する。 例) パンフレット、リーフレット、プレゼンテーションソフト、ペーパーサート、劇などで発表する。
小4	○相手の意図が伝わるように、根拠を明確にして話す。 既習事項などの例や資料を示しながら話す。 まとめる言葉を使って話す。 相手の意見や多数の意見をまとめ、比較しりて話す。 例) 「～をまとめて言うと、つまり～」	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容に応じて、資料を活用し聞き手の表情を見ながら、分かりやすく発表する。 例) グラス、絵、写真、紙芝居を活用して発表する。 例) パンフレット、リーフレット、プレゼンテーションソフト、ペーパーサート、劇などで発表する。
小5	○相手に意図が伝わるように、根拠を明確にして話す。 既習事項などの例や資料を示しながら話す。 まとめる言葉を使って話す。 相手の意見や多数の意見をまとめ、比較しりて話す。 例) 「～をまとめて言うと、つまり～」	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容に応じて、資料を活用し聞き手の表情を見ながら、分かりやすく発表する。 例) グラス、絵、写真、紙芝居を活用して発表する。 例) パンフレット、リーフレット、プレゼンテーションソフト、ペーパーサート、劇などで発表する。
小6	○相手に意図が伝わるように、根拠を明確にして話す。 既習事項などの例や資料を示しながら話す。 まとめる言葉を使って話す。 相手の意見や多数の意見をまとめ、比較しりて話す。 例) 「～をまとめて言うと、つまり～」	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容に応じて、資料を活用し聞き手の表情を見ながら、分かりやすく発表する。 例) グラス、絵、写真、紙芝居を活用して発表する。 例) パンフレット、リーフレット、プレゼンテーションソフト、ペーパーサート、劇などで発表する。
中1	○自分の考えを整理し、相手に意図が伝わる理由を明確にして話す。 まとめる言葉や資料を使いながら話す。	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容で、聞き手が納得できるように、分かりやすく説明する。 自分の考えや図表、絵、写真、グラフなどを取り入れ、紙面やホワイトボードなどを活用して発表する。 例) 実物投影機やプレゼンテーションソフトなどのICTを活用して発表する。
中2	○自分の考えを整理し、相手に意図が伝わる理由を明確にして話す。 まとめる言葉や資料を使いながら話す。	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容で、聞き手が納得できるように、分かりやすく説明する。 自分の考えや図表、絵、写真、グラフなどを取り入れ、紙面やホワイトボードなどを活用して発表する。 例) 実物投影機やプレゼンテーションソフトなどのICTを活用して発表する。
中3	○自分の考えを整理し、相手に意図が伝わる理由を明確にして話す。 まとめる言葉や資料を使いながら話す。	○相手の意図を聞きながら聞く。 例) 「～さんの言いたかったことは、～」「～の意見を言い換えると～」	○目的や意図に応じて、事象や意見を区別し、引用やグラフなどを用いて、分かりやすく書く。 例) 日記、行事作文、手紙、観察文、説明文、詩、依頼状、状況など	○話し合いを生かす。 例) 「～さんの考えに賛成です。理由は～です。」 例) 「～さんの考えと違って～だと思います。理由は～だからです。」	○伝えたい内容で、聞き手が納得できるように、分かりやすく説明する。 自分の考えや図表、絵、写真、グラフなどを取り入れ、紙面やホワイトボードなどを活用して発表する。 例) 実物投影機やプレゼンテーションソフトなどのICTを活用して発表する。

小学校中学年では、理由をつけて話す、つながりを考えて話すことを、めざします。

わたしは、○○と思います。なぜなら、△△だからです。



Aさんの言うことも分かりませんが、見方を変えて、Bと考えると、Cということになると思います。

中学校では、主体的に話す、相手の考えを尊重しながら高まりがもてるように話し合うことをめざします。



家庭では

子どもの生活を見守りましょう

規則正しい生活習慣づくりの7つの提案

規則正しい生活習慣は、子どもたちの学習習慣を築くことにつながります。

- ①朝食をとってから登校しましょう。…………… 朝食は体を活性化させ、体調を整えます。
- ②早寝・早起きの習慣を身につけましょう。…………… 適切な睡眠は、脳を活性化させます。
- ③テレビやゲームの時間を決めましょう。…………… 家族で過ごす時間や学習時間を確保しましょう。
- ④スマートフォン(携帯電話等)は約束事を決めましょう。…………… 正しい使い方を身につけさせましょう。
- ⑤進んであいさつをしましょう。…………… 明るい笑顔で、気持ちよく過ごしましょう。
- ⑥身の回りの整理整頓をしましょう。…………… 整った環境で、活動しやすくしましょう。
- ⑦進んでお手伝いをしましょう。…………… 家族の一員という意識と生活の自立につながります。

一日の生活リズムのサイクル

学力アップは、毎日の生活を見直すことから始まります。

合言葉は、「**パッチリ**」「**モグモグ**」「**コツコツ**」「**グッスリ**」です。



⑥ 早く寝よう

グッスリ寝る環境をつくるために、
家族の協力を

① 早く起きよう

パッチリ起きるためには、
家族の根気強い
呼びかけ・働きかけから

⑤ 家族と楽しく 夕食を食べよう

食事前後の家事を手伝い
できるだけ
コミュニケーションを大切に

子どもが
安心して
生活できるような
環境を
整えましょう。

② 朝食をしっかりと 食べよう

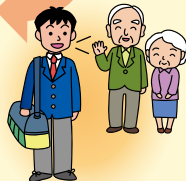
栄養のバランスを考えた
食事を**モグモグ**食べて、
しっかりと活動できるように

④ 時間を決めて毎日 家庭学習をしよう

テレビ・ゲーム・携帯電話等の
「ながら学習」は避け、**コツコツ**
落ち着いて学習できる環境を

③ 気持ちのよい あいさつをしよう

日頃から正しい言葉遣い
を意識し、家族や地域で
あたたかい声かけを





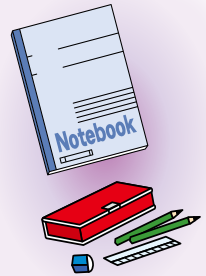
家庭では

子どもの学習を見守りましょう

📌 学習開始時刻を決めましょう。
「〇時〇分になったら勉強します!」

📌 最初は宿題から始め、次に復習をしましょう。
さらに予習もするといいです。最後に片づけと翌日の支度をしましょう。

📌 自分に合った学習の流れをつくりましょう。



<小学校算数・中学年の例>

その日に学校で学習した問題をもう一度解く

➡ 教科書やドリルの問題を繰り返して練習する

➡ まちがえた答えは消さないで「どうしてまちがえたのか」を考えてやり直す



<中学校社会科の例>

教科書を見直す ➡ 資料やインターネットで調べる ➡ 考えてまとめる

➡ 覚える ➡ 問題を解く ➡ 答え合わせをする ➡ 不正解箇所をもう一度

理解し直す ➡ 数日後にもう一度問題を解く ➡ 定期試験前に再確認をする

※「家庭学習の手引き 小学生版・中学生版」(綾瀬市教育委員会)も併せてご活用ください。

中学生は…

📌 曜日により学習する教科を決めましょう。
「〇曜日には〇〇の勉強します!」

📌 定期試験前などには、早起きをして前夜の復習をしましょう。
<例>「昨夜覚えた歴史上の人物を思い出してみます!」

保護者の皆様へ

📌 家庭学習のルールは親子の話し合いで決めましょう。

📌 よい姿勢や正しい鉛筆の持ち方などを身につけることは、学習を進める上で大切です。家庭でもお子さんの様子を見てあげましょう。

📌 机まわりを整理整頓させましょう。

📌 家庭学習と読書は、必ず毎日させましょう。

📌 学習中はそばで見守り、励まし、できたら褒めましょう。





家庭
地域では

家庭読書とノーテレビ、 ノーゲームをすすめましょう

あやせゼロの日運動

毎月ゼロの日 **10日** **20日** **30日** は

「テレビを消して、家族だんらん・家庭読書の日」

- 運動日は、家庭読書や趣味、家族だんらんなど、有意義な時間を過ごしましょう。
- 読書をする時は、「読書ノート」を活用しましょう。
- 家族全員で取り組みましょう。



あやせゼロの日運動って何？

市内保育園、幼稚園、小・中学校、PTAと協力し合って“あやせゼロの日運動”を愛称とした「家庭読書の日、ノーテレビ・ノーゲームデー運動」を全市的な取り組みとして展開しています。

この運動は、子どもたちの健康的な生活習慣を定着させ、豊かな心を育成するため、毎月ゼロのつく日（10日・20日・30日）は、テレビやゲームを一休みし、家庭での読書、家族の会話やふれあいなど、家族の時間を充実していただくことを目的とした取り組みです。



家読(家庭読書)の様子

あなたも始めよう！あやせゼロの日運動

テレビやゲームから離れてみると、普段の生活では気づかない「家族のふれあい」の大切さを感じることができます。

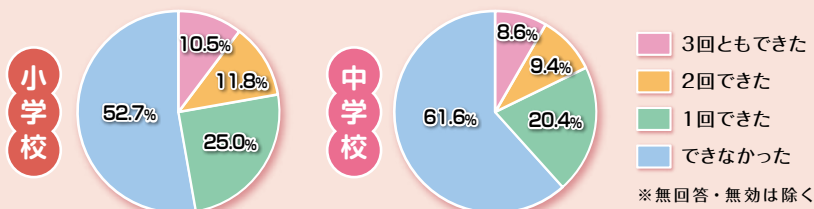
「あやせゼロの日運動」をきっかけにテレビやゲームとのつきあい方を見直してみませんか？

各ご家庭のご都合により、家族で話し合って運動を始めてください。毎月ゼロの日（10日・20日・30日）にできない場合は、別の日でも構いません。運動を実施するにあたり、ご家族、地域の皆様のご協力をお願いします。

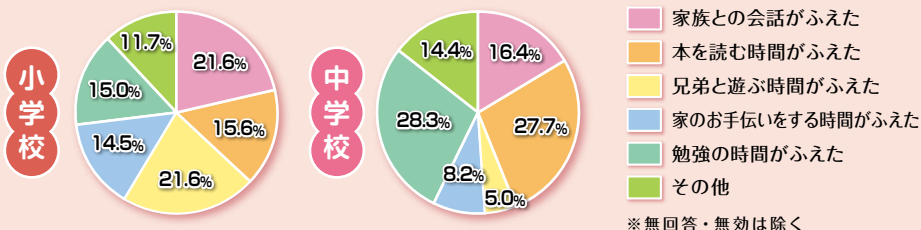
小・中学校アンケートから

平成25年12月に市内小・中学生を対象にアンケートを行いました。

平成25年11月は、何回実施できましたか。



実施した日の感想はどうでしたか。



アンケート結果から

「家族の会話が増えた」「本を読むことが増えた」「家のお手伝いをするが増えた」「勉強した」など、有意義な時間を持つことができたという意見が多数ありました。



あやせゼロの日運動展開中

毎月ゼロの日（10日、20日、30日）はテレビやゲームを一休みして、家族の時間として過ごしましょう。